

Hannibal

—将軍の特殊能力—

注：Fabius は、ターン8の開始時にゲームから取り去られる（老齢のため）。
Marcellus、Fabius、Gracchus、Hasdrubal が解任される時には、所有プレイヤーの政治支配マーカーが1つ失われる。死者を中傷することはできず、殺されることはあなたの中傷者に口実を与える。

ローマ軍将軍の特殊能力

Publius Scipio : スペインにいる時に、2の戦略値を持つ。

Titus S. Longus : 元々攻撃側であった場合、1～2で反撃できる。

Gaius Flaminius : サイの目1～4で追撃に成功できる。

Fabius Maximus : サイの目1～5で戦闘前に退却できる。イタリアを離れることができない。

Marcellus : もし戦役カードによって包囲していると、包囲表上で+1のサイの目修正を適用できる。

Gaius C. Nero : 戦役カードによって移動した時に、6スペース移動できる。

C. Terentius Varro : サイの目1～4で迎撃できる。

L. Aemilius Paulus : もし元々防御側であると、1～3で反撃できる。

Scipio Africanus : もし強行軍カードによって包囲していると、包囲表上で2回サイを振り、両方の結果を適用できる。

L. Crassus : もし8戦闘ユニット以上と共にスタックすると、戦略値と戦闘値がどちらも2になる。征服の時の戦闘ユニットの損失も2倍になる。*前205年にAfricanusの同僚だった。*

Q. Crispinus : もし解任されると、友軍城塞都市内に置かれる。*長期間にわたって負傷に耐えて活動し続けた。*

Fulvius : 城塞都市を持つ友軍スペース内では、追加の戦闘カードを1枚受け取る。*F. Flaccus と F. Centumalus は、要塞内でその真価を発揮した。*

T. Gracchus : 迎撃や追撃ができない。*偵察することを恥とした高潔な戦士。*

M. Livius : イタリア内では戦略値が2になる。*老将軍は、Neroに力を貸すために呼び戻された。*

M. Minucius : 常にプロコンスルとして見なされる。*Geroniumの後に、寛大にもFabiusに従い、統率上の執政官システムを破棄した。*

Scipio Nasica : 非友好部族と共にスタックした時には、冬季消耗フェイズの間に失われた戦闘ユニットと同数の征服ポイントを加える。*戦後にBoii と Insubrians 部族を鎮圧した。*

カルタゴ軍将軍の特殊能力

Hannibal : 戦闘のたびに1度、"Probes"カードを、"Flank Lefts"、"Flank Rights"、"Double Envelopments"カードとして使用できる。

Hasdrubal : なし。

Hanno : もしその移動を政治支配マーカー上で終了すると、ローマ軍の非城塞政治支配マーカーを取り去ることができる。アフリカを離れることができない。

Mago : 海上移動を使用する時に、海軍戦闘表に-1のサイの目修正を受け取る。

H. Gisgo : 1～3で戦闘回避と迎撃ができる。